

東京 2020 オリンピック・パラリンピック
プロジェクト in 市川市



令和 3 年 4 月

＜第 4 版＞

TOKYO 2020

目 次

1	東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて	．．．．．	P 1
2	本市における取り組み	．．．．．	P 2
	■推進体制	．．．．．	P 2
	■目標と方針	．．．．．	P 3
	■事業計画の策定	．．．．．	P 6
	2021 事業計画	．．．．．	P 9
	■2021（令和 3 年度）の重点要素	．．．．．	P11
	方針 1 スポーツ・健康づくりの促進	．．．．．	P12
	方針 2 こどもの体験活動の充実	．．．．．	P13
	方針 3 文化活動の促進と市の情報発信	．．．．．	P15
	方針 4 国際交流や市民活動の活性化	．．．．．	P17
	方針 5 バリアフリー化や公共サインの整備	．．．．．	P18

1 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて

2013 年（平成 25 年）に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会）の開催が決定して以降、全国で様々な取り組みが進められ、東京 2020 大会への注目が高まってまいりました。市川市においても、大会会場である東京、幕張の双方に近く、市民の関心は、より一層高いことから、2015 年度（平成 27 年度）より、組織的かつ計画的に東京 2020 大会に関連した取り組みを進めてきたところです。

2017 年（平成 29 年）10 月末には、関連事業の充実と活性化を目指して、市民、関係団体、本市を構成員とする市川市スポーツキャンプ誘致等実行委員会を設立したほか、同年 12 月にはブルガリア共和国新体操チームの誘致に関連し、ブルガリア共和国のホストタウンに登録、東京 2020 大会に関連する事業の活性化を図ってまいりました。

しかしながら、2020 年（令和 2 年）3 月末、世界中に甚大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の影響を受け、東京 2020 大会開催は 1 年延期となりました。

2021 年（令和 3 年）は、いよいよ東京 2020 大会が開催される年となります。新型コロナウイルス感染症による社会状況の変化等を考慮しながら、市民の機運醸成を図るとともに、「オリンピックレガシー」を活かし、より良いまちづくりを進めるための取り組みを充実させてまいります。

2 本市における取り組み

■ 推進体制

東京 2020 大会に関連する取組みを組織的に推進するため、2015 年（平成 27 年）8 月に「東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクト 市川市推進本部」を立ち上げました。

＜東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクト 市川市推進本部＞

役割…下記の協議事項について協議、決定する。

協議事項

- (1) 東京 2020 大会に向けた取組の目標、方針及び計画に関すること。
- (2) 東京 2020 大会に関連する事業の調整に関すること。
- (3) その他東京 2020 大会に関すること。

本部長：市長

本部長：副市長、教育長、危機管理監、市長部局の部長及び理事、行徳支所長、消防局長、
教育次長並びに教育委員会事務局の部長及び議会事務局長

＜各年度の取り組み＞

平成 27 年度：目標・方針決定

（下部組織）

- 目標等検討部会（次長級）…取り組みの目標・方針案の協議
- 作業部会（課長級）…分野毎の取り組みの目標・方針案の協議
（スポーツ・文化・交流/観光・商業促進/街づくり）

平成 28 年度：事業計画策定

（下部組織）

- 事業推進部会（次長級）…重点事業の検討・調整
- 作業部会（課長級）…関連事業等に関する協議、課題解決、情報共有
（外国人向け街あるき/イベント等情報共有）

平成 29 年度：事業計画策定・事業推進

（下部組織）

- 事業推進部会（次長級）…重点事業の検討・調整 <平成 29 年度末をもって廃止>

平成 30 年度：事業計画策定・事業推進

令和元年度：事業計画策定・事業推進

（下部組織）

- おもてなし部会、イベント部会（担当）…関連事業等に関する協議、課題解決、情報共有
（歓迎の花、応援のぼり旗/イベント等情報共有）

令和 2 年度：事業計画策定・事業推進

- 新型コロナウイルスの影響により、各種事業の多くは中止

■ 目標と方針

目標と方針を策定するにあたり、東京 2020 大会開催前・開催中の本市の状況について、以下 2 点を想定しました。

«想定される状況»

- ① 市内における、2021 年の大会開催までの、障がい者スポーツを含むスポーツや、文化、国際社会、市民活動への市民の関心の高まり。
- ② 世界中から東京や千葉を訪れる人が増加し、成田空港と羽田空港の間に位置する本市においても、市外、県外、国外からの来訪者が増加し交流が生まれるなど、市外とのつながり。

市民の関心の高まり

- ・ スポーツ・文化・国際社会・市民活動への関心の高まり

市外とのつながり

- ・ 来訪者の増加
- ・ 交流の増加

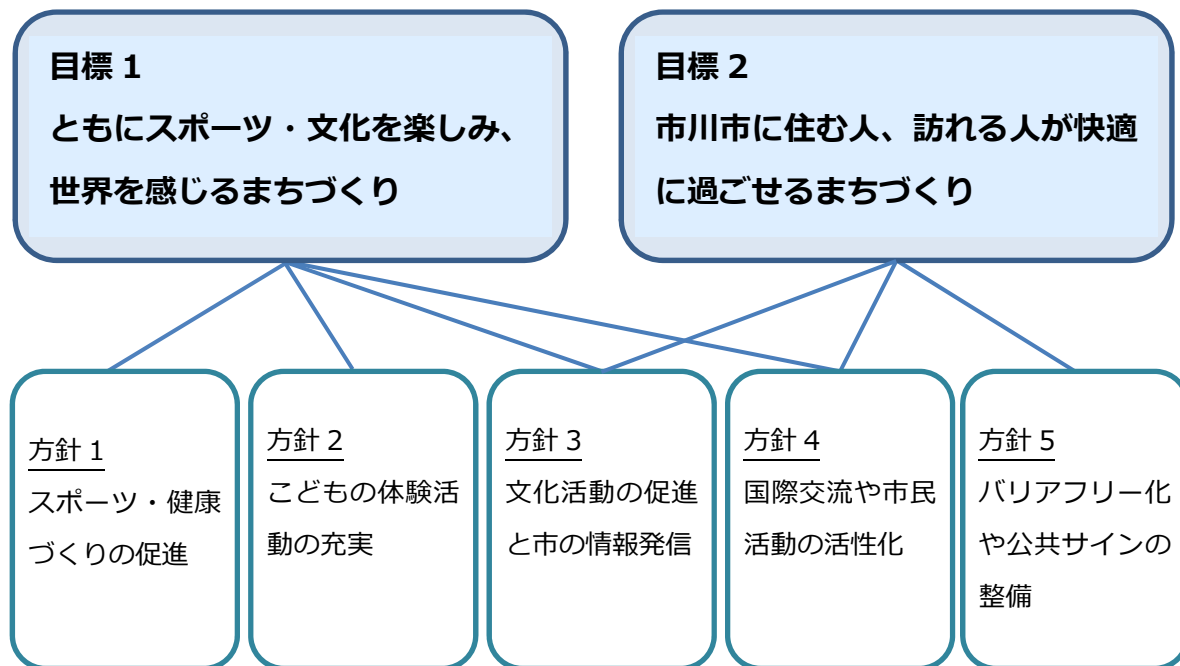


市川市

「目標・方針の体系」

「市民の関心の高まり」「市外とのつながり」の 2 つの視点をヒントとして、2015 年度（平成 27 年度）に目標と方針を策定いたしました。

なお、目標 1 及び目標 2 に効果的に作用すると考えられるため、方針 3 および方針 4 は双方に紐付くものとなりました。



目標 1 ともにスポーツ・文化を楽しみ、世界を感じるまちづくり

東京 2020 大会の開催を契機としたスポーツ、文化、国際交流等に関する市民の関心の高まりを活かし、人々が生き活きと過ごせるまちづくりを推進します。

目標 2 市川市に住む人、訪れる人が快適に過ごせるまちづくり

東京 2020 大会の開催を契機とした市内外における人々の交流機会の増加を活かし、ハード面、ソフト面を問わず、全ての人が快適に過ごせるまちづくりを推進します。

方針 1 スポーツ・健康づくりの促進

東京 2020 大会の開催にあたり、障がい者スポーツを含む多様なスポーツ競技に触れる機会が増えることにより、スポーツや健康づくりに対する市民の意識を高め、実際に自らが取り組むことを促進します。

方針 2 こどもの体験活動の充実

東京 2020 大会の開催にあたり、世界トップレベルの競技者を知る機会、来訪者の増加による国際交流の機会等が増加することを活用し、こども達が心身ともにたくましく育つための体験活動を充実させます。

方針 3 文化活動の促進と市の情報発信

東京 2020 大会の開催にあたり、多様な文化を持つ世界と交流を進めるためには、相互理解が必要不可欠です。また、組織委員会等においても、文化活動を推進する取り組みの充実が期待されることから、それらの取り組みの活用も視野に入れ、本市における文化活動を推進し、あわせて国内外に対する本市の情報発信を進めます。

方針 4 国際交流や市民活動の活性化

東京 2020 大会開催前から国内で予定される、各種競技の世界大会等の開催により、個人・団体を問わず多様な世界との交流機会が増加すること、及び各種大会等の取り組みにあたってはボランティアの活躍が期待されていることから、市民の国際交流や市民活動に関する意識を高め、活動の活性化を進めます。

方針 5 バリアフリー化や公共サインの整備

東京 2020 大会の開催にあたり、スポーツ、文化、国際交流等に関連した取り組みは増加していくと想定されます。それらの取り組みに関連する誰もが快適に過ごすために必要な、公共施設等のバリアフリー化や公共サインの多言語表記化等の整備を進めます。

■ 事業計画の策定

事業計画は、2017 年度（平成 29 年度）以降、東京 2020 大会開催年度まで、本市を取り巻く状況の変化等を反映させるため、毎年度更新します。また更新にあたっては、年度ごとに社会状況等の変化や取り組みの進捗を考慮した重点要素を定め、段階を経て事業の充実を目指すものとします。

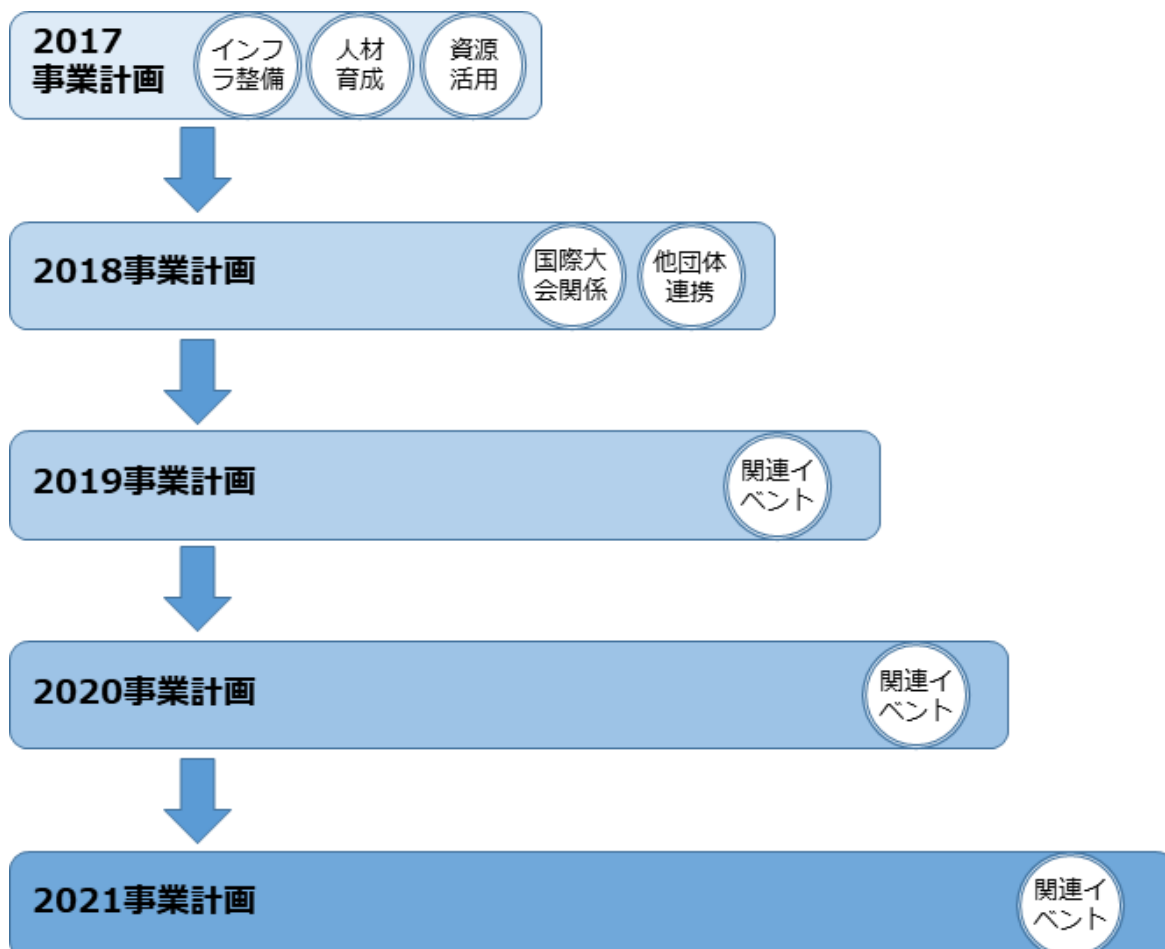
東京 2020 大会開催年度までの間に、国内では世界規模の競技大会が毎年予定されていることや、近年の訪日外国人の急増から、東京 2020 大会を契機とした取り組みは、よりよいレガシーを得ることを見据えたうえで早い時期から検討を進め、計画的に推進することが重要となります。

（１）計画期間

2017 年度（平成 29 年度）から、東京 2020 大会開催年度まで

（２）重点要素

本市を取り巻く社会状況の変化や、世界規模の競技大会の開催年度を考慮し、年度ごとに重点的に着手する要素を定めました。



2017 重点要素

①インフラ整備

訪日外国人等に対応したユニバーサルデザインにもとづく施設整備や、基盤整備、多言語標記の充実、新たな観光スポットの整備などを行うことにより、大会前から事業効果が得られるもの。

②人材育成

大会にむけた機運の醸成、技術・知識の習得などは、事業効果が得られるまでに時間を要することから、こどもを中心に、市民等が参加する取り組みのうち早期に開始することが必要なもの。

③資源活用

本市の文化・歴史・観光・他団体との連携など、有形・無形を問わず、本市が有する既存の資源を活用した取り組みを進めることで、大会前から事業効果が得られるもの。

2018 重点要素

①国際大会関係

世界女子ソフトボール選手権大会など、世界規模の競技大会に関連するもの。

②他団体連携

大学やその他文化・スポーツ関連団体と連携した取り組みを推進するもの。

2019 重点要素

関連イベント

東京 2020 大会開催に向け、従前の取り組みに加えイベントの充実を図るもの。

2020 重点要素

関連イベント

東京 2020 大会開催に向け、従前の取り組みに加え、社会状況等の変化や取り組みの進捗を考慮したイベント等の実施により、機運の醸成を図るもの。

2021 重点要素

関連イベント

東京 2020 大会開催直前および開催中のイベントの充実を図り、事業計画を完成させるもの。

2021 事業計画(詳細)

■ 2021 年度(令和 3 年度)の重点要素

2021 年度 (令和 3 年度)は、東京 2020 大会開催年度となります。本市はブルガリア共和国のホストタウンに登録していることから、人的・経済的・文化的な相互交流を図るため、「関連イベント」を引き続き重点要素と位置づけるとともに、効果の期待される事業についても継続して取り組むものとしします。

また、事業の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業の内容に応じ、必要な感染症対策を講じるとともに、オンラインシステム等を活用した代替又は追加方策を講じるなど、適切な対応を図るものとしします。

2017 重点要素

①インフラ整備

②人材育成

③資源活用

2018 重点要素

①国際大会関係

②他団体連携

2019、2020、2021 重点要素

①関連イベント

組織委員会等が進める文化プログラム等推進事業

東京 2020 参画プログラム

東京 2020 大会の盛り上げに向けた機運醸成と、大会後のレガシー創出に向けて取り組むプログラムを認証。



〔大会組織委員会〕

beyond2020 プログラム

日本文化の魅力を発信するとともに、東京 2020 大会以降を見据えたレガシー創出のための文化プログラムを認証。



〔内閣官房オリパラ事務局〕

方針 1 スポーツ・健康づくりの促進

事業名 (所管)	1 スポーツキャンプ関連・体験会事業 (文化スポーツ部スポーツ課)		国際大会 関係
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要		スポーツキャンプの誘致種目等の体験会等を開催し、トップアスリートによる競技紹介と競技体験の機会を設ける。	

事業名 (所管)	2 「する」「みる」「ささえる」スポーツ体験事業 (文化スポーツ部スポーツ課)	2017	人材育成
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要		様々な角度からスポーツに携わる機会を設け、スポーツを通じた地域活性化を推進するため、「みるスポーツ」として、プロスポーツの試合への招待や観戦ツアー等、「ささえるスポーツ」として、スポーツ選手を「ささえる」方々の講話や、バックヤード見学会等を行う。	

事業名 (所管)	3 ラグビーフェスティバル (文化スポーツ部スポーツ課)	2017	人材育成
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要		地域で活躍するスポーツ少年団の交流とスポーツ文化の活性化を目的とし、本市とゆかりのあるラグビーチームの協力のもと、種々のスポーツを通じた体験活動を実施。また、健康に関する知識習得の場とするため、近隣大学および歯科医師会の協力により、栄養相談等を行う。	

事業名 (所管)	4 いちかわスポーツフェスタ (文化スポーツ部スポーツ課)		人材育成
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要		東京オリンピック・パラリンピックのレガシー及びスポーツを通じた地域の活性化を図るべく、スポーツ教室や体験会等を実施する。	

方針２ こどもの体験活動の充実

事業名 (所管)	5 多文化共生推進事業「ワールドフレンズ」 (企画部国際政策課)		人材育成
		2019	
		2020	
事業概要	青少年の国際意識の醸成を図るため、本市と姉妹・友好都市等の小学校児童が、ビデオレター等を送付し合い学校間交流を深める。	2021	

事業名 (所管)	6 学校訪問事業 (文化スポーツ部スポーツ課)		国際大会 関係
		2018	
		2019	
		2020	
事業概要	オリンピック・パラリンピックの選手等による学校訪問を行い、競技紹介、トップアスリートとの交流、文化交流等を行う。	2021	

事業名 (所管)	7 夢の教室運営事業 (文化スポーツ部スポーツ課)	2017	人材育成
		2018	
		2019	
		2020	
事業概要	自立心と社会性に富んだ子供達を育成していくため、市立小中学校等で、「夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さ」、「思いやりを持って仲間と協力すること」をトップアスリートが伝える『JFA こころのプロジェクト「夢の教室」』を実施する。また、同内容にて、親子を対象に公募型イベントも行う。	2021	

事業名 (所管)	8 タグラグビー教室事業 (学校教育部保健体育課)	2017	人材育成
		2018	
		2019	
		2020	
事業概要	市立小学校において、運動に親しむとともに、集団による攻防によって競争することの楽しさや喜びを味わう「ゴール型」学習の一助とするため、ジャパンラグビートップリーグで活躍する選手が直接競技を紹介するタグラグビー教室を開催する。	2021	

事業名 (所管)	9 オリンピック・パラリンピック教育推進事業 (学校教育部保健体育課)		他団体 連携
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	県内における、オリンピック・パラリンピック教育を推進するために、市内２校を推進校に指定し、オリパラ教育（アスリートの学校訪問授業等）を実践するとともに、その成果を普及する。		

方針 3 文化活動の促進と市の情報発信

事業名 (所管)	10 本で知るオリンピック・パラリンピック事業 (生涯学習部中央図書館)	2017	資源活用
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	オリンピック・パラリンピックを通じてスポーツや外国文化に対する関心を高めるため、図書館の展示コーナー等において関係図書の展示を行う。		

事業名 (所管)	11 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会 事前キャンプ誘致事業 (文化スポーツ部スポーツ課)		国際大会 関係
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した事前キャンプ誘致を行い、広く国内外に本市の取り組みを発信する。		

事業名 (所管)	12 市内農産物の PR 事業 (経済部農業振興課)		資源活用
		2020	
		2021	
事業概要	デジタルサイネージ等を活用し、市外在住者及び外国人に向けて市内産農作物の PR をする。		

事業名 (所管)	13 文化施策活性化事業 (文化スポーツ部文化芸術課)		関連 イベント
		2020	
		2021	
事業概要	文化都市いちかわの実現に向け、文化振興ビジョンの「豊かな心を育む文化活動の支援」における芸術に親しみ触れる機会の拡充を図るもの。 また国際交流の観点からも外国人に日本の伝統文化（歌舞伎）に触れる機会を設けるもの。		

事業名 (所管)	14 いちかわ今昔写真展事業 (文化スポーツ部文化芸術課)		関連 イベント
		2020	
		2021	
事業概要	市民から集めた前回の東京オリンピック(1964 年)当時の市内の写真と現在の市内 の写真を展示する。		

方針4 国際交流や市民活動の活性化

事業名 (所管)	15 「東京五輪音頭-2020-」 貸出事業 (文化スポーツ部スポーツ課)	2017	人材育成
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	1963 年に制作された「東京五輪音頭」をリメイクした「東京五輪音頭-2020-」を大会組織委員会が作成したことを受け、地域のお祭りやイベント等での活用を促すため CD の貸し出しを行う。		

事業名 (所管)	16 スポーツキャンプ関連・ ボランティア募集事業 (文化スポーツ部スポーツ課)		国際大会 関係
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	スポーツキャンプの会場運営、外国語による選手とのコミュニケーション等に、市民ボランティアを要請し、市民参加のもとでスポーツキャンプを運営する。		

事業名 (所管)	17 スポーツキャンプ関連・文化交流事業 (文化スポーツ部スポーツ課)		国際大会 関係
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	スポーツキャンプの誘致に関連し、誘致国の文化などを学び誘致国に関する理解を深めるため、市民を対象とした講演会、ワークショップ等を行う。		

事業名 (所管)	18 アイ・リンクタウン展望施設維持管理事業 (観光部観光政策課)	2017	インフラ 整備
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	訪日・在住を問わず外国人の来場を促し、本市の PR を行なうため、アイ・リンクタウン展望施設リーフレット(英語併記版)を市内各所に配布する。		

方針5 バリアフリー化や公共サインの整備

事業名 (所管)	19 防災用施設維持管理事業 (危機管理室地域防災課)		インフラ 整備
		2019	
		2020	
事業概要	平成 28 年 3 月 22 日付で制定された JIS 規格による「災害種別避難誘導標識システム」に倣い、市内避難場所等の案内板等のピクトグラム整備を実施するもの。	2021	

事業名 (所管)	20 交通バリアフリー推進事業 (道路交通部交通計画課)	2017	インフラ 整備
		2018	
		2019	
		2020	
		2021	
事業概要	鉄道駅における高齢者・障害者等の移動等の円滑化を図るため、鉄道事業者に対し多機能トイレやスロープ設置等の整備費用の一部を補助する。 ※京成菅野駅、二俣新町駅、大町駅のバリアフリー化。		

